

「松ヶ丘の点景 No.21」 R7.9.18

秋の農場では、1年生の「農業と環境」の授業が行われており、“収穫の秋”に向けて、実習圃場では“ハクサイ”“キャベツ”“ブロッコリー”の苗付けが終わりました。A科では1年時に、作物栽培の基礎を学ぶ授業があります。種まき・苗の植え付けから収穫までの一連の管理作業をとおして、“もの”が育つ様とそれに必要な要素に気づき学びます。プロセスそのもの全てが学びです。

生徒にとっては、殆ど初めての経験ですから、なぜ？なぜ？なぜ？のオンパレードです。

なぜ？水を与えるのか？→水を与えないとどうなるのか。なぜ？肥料を与えるのか。→何をいつ・どれくらい与えるとどこがどうなるのか。等々

「一期一作」・・・農業では失敗が許されないことがあります。30年のキャリアと言っても、回数にすると30回しか経験できません。だから、真剣に向き合わないといけません。

